

自分の成長を振り返って

学校長 梅田 比奈子

今年度もあと1ヶ月を残すところとなりました。4月に本校に異動し、瀬小の子どもたちとの素敵な出会いがありました。そして、1年。この1年の中で、子どもたちは、多くの経験をし、様々な人に支えられながら、大きく成長してきました。最近の子どもたちの様子をみても、それがよく分かります。最初、不安げに登校してきた1年生は、先週たくさんの幼稚園、保育園の子どもたちに、自信をもって小学校案内をしていました。2年生は、初めて取り組むリコーダーが少しずつ上手になり、九九も覚えめました。3年生は、そろばんに挑戦。昔の暮らしの様子では、地域の方に教えていただきました。4年生は、10歳を祝う会で、自分の夢を語り、感動の涙を流しました。5年生は、区の球技大会で協力していいプレーを行いました。6年生は、卒業に向けて、多くの人々の話を聞き、自分の次へのステップを見つめています。そして、個別級の子どもたちは、合同学習発表会で、堂々と発表しました。そんな子どもたちの成長は、私たち教職員にとっても何よりの喜びです。



さて、2月には、ピョンチャンオリンピックが開催されました。メダルをとった選手、とれなかった選手、その結果は様々でしたが、そこに至るまでの過程の中で、私たちに多くの感動を与えてくれました。そして、選手たちは、必ずと言っていいほど「感謝」という言葉を口にしています。自分の今日の結果は、自分だけの努力で成し遂げたものではない。周りの人々の協力や支えがあって今の自分がいるということを選手たちは、伝えてくれているように思います。

けがをして、ずっと試合に出られなかった羽生結弦選手は、66年ぶりの二連覇を達成した後、インタビューの中で次のようなことを語っていました。「集中して跳びたかったジャンプは跳べてよかった。ここまで来るのにたくさんの方々を支えられながら、生きてきました。スケートだけでなく、羽生結弦として育てていただいたことに感謝しています」これからパラリンピックも開催されますが、そこで、活躍する選手たちもきっと同じように、私たちに感動をくれるでしょう。

最初、子どもたちの成長について、書きました。ただ、子どもたち自身は、自分がどんなに成長しているか・・・ということには、気づいていないのかもしれませんが。学年の終わりに、自分の頑張ってきたことや成長を振り返ると共に、オリンピック選手のように、その自分を支えてくれた人々にも感謝の気持ちをもってほしいと思います。

平成29年度もいよいよ最後の月を迎えました。保護者の皆様・地域の皆様・諸機関の皆様、これまでの温かいご支援ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。